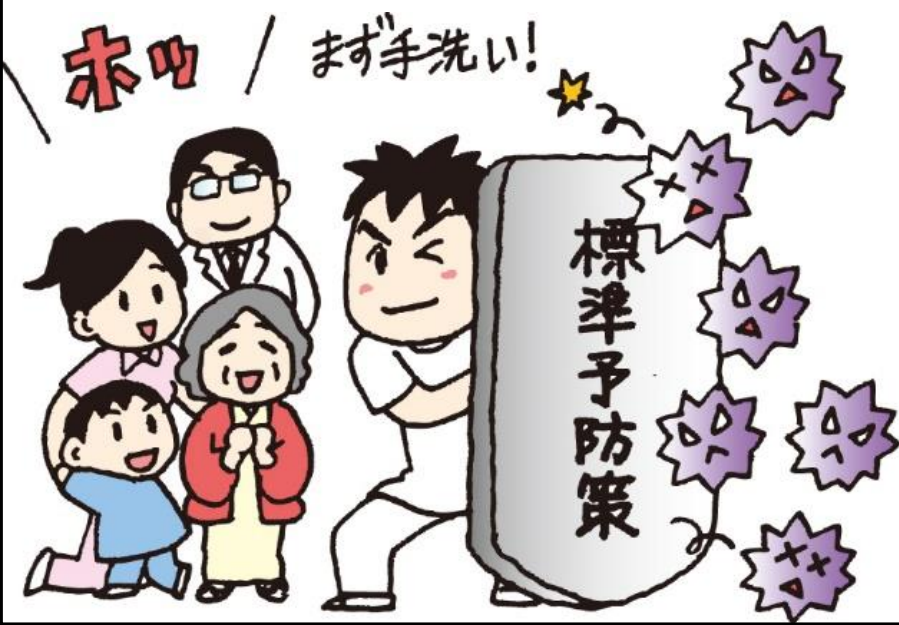


高齢者施設における 平素からの感染対策



2023年9月21日
防府市医療・介護多職種連携研修会

本日の内容

- ☑標準予防策について
- ☑経路別予防策について
- ☑新型コロナウイルス感染症対策



標準予防策（感染対策）の考え方

- ①血液②全ての体液・汗を除く分泌物、排泄物
- ③損傷した皮膚④粘膜は感染の可能性がある



☑なぜこのような考えが必要なのか

①未知の疾患がある可能性がある

→新型コロナウイルスが発生したのは、
2019年12月



②ウィンドウピリオドがあるから

→病原体に感染してから検査で検出できるようになるまでの空白期間
※HBVだと、約2ヶ月

感染対策の基本「標準予防策」の考え方

- ①血液②全ての体液・汗を除く分泌物、排泄物、
- ③損傷した皮膚④粘膜は感染の可能性がある



☑このように考えて行動することで、まず自分を守ります。そして患者さんも守ります。

☑そのための具体的な方法が
「手指衛生の実施」
「防護具の着用」
等です



「手指衛生」がなぜ大切？

☑病原体は、自分で移動できない！

☑病原体の移動を手伝っているのは、私たちの手！



☑感染経路を断つために、**手指衛生**が大切

どちらの手で触れて欲しいですか？



手指衛生の方法

☑手指衛生の方法は、2種類あります



1. 石けんを用いた
流水での手洗い



2. アルコール製
手指消毒剤
を用いた手洗い

手指衛生の使い分け

- ☑手に目に見える汚れがある
- ☑嘔吐・下痢の処置後である

はい



いいえ



速乾性手指消毒剤の使用方法について

(例：当院では、ヒビソフトを使用しています)

【15秒で乾かない量 3ml】



これが適正な量

☑ 1 Lタイプのポンプの場合

下まで押し切ることが大事！

☑ その量をしっかり手に擦り込む

☑ **自分の施設の手指消毒剤の
適量を確認して下さい**

※ 15秒擦り込むことが大事！

**早く乾かそうとパタパタする
のはダメ！**

石けんを用いた流水での手指衛生の方法

☑石けんをつけて、

15秒泡立てて洗いましょう

(うさぎと亀の歌が目安！)



☑手指衛生後、ペーパータオルで
しっかり優しく

水分を拭き取りましょう

➡水分が残っていると、細菌が付着・伝達
したり、繁殖しやすい環境となる。
また、手荒れの原因になる

手袋付けっぱなしに注意！

☑ワゴンを押す時や、接触感染対策が必要な患者さん以外の患者移送時は、手袋の装着は不要です

☑つけっぱなしの姿よく見かけます



なぜダメなのか？

①手指衛生がおろそかになる

②手袋の汚れが周囲に付着して、周囲が汚れる

☒自分を守るためだけの手袋になっていませんか？

◆**自分も患者も守る**

手袋の使用をお願いします

よく
お願いします

Q：すぐ使えるよう手袋をポケットに入れて、持ち運んでもいい？

A：×

☑ポケットには、ボールペン・メモ用紙・ハサミなどが入っており、手袋が破損する恐れがあります

☑ポケット内の物でポケットが汚染している可能性があり、手袋も汚染してしまう
⇒自分を守るだけの手袋になってしまう

手袋はポケットに入れないで！



Q : 使用した手袋の上から 手指衛生してもいいの？

A : ×

☑手袋は、単回使用です

☑手袋の上から手指消毒剤を使用すると

①アルコールの影響で手袋が破損する可能性がある

②汚れが残ってしまい、手袋を使用前の状態にまで清潔な状態に戻すことはできない

手袋の上からの手指衛生はしないで下さい

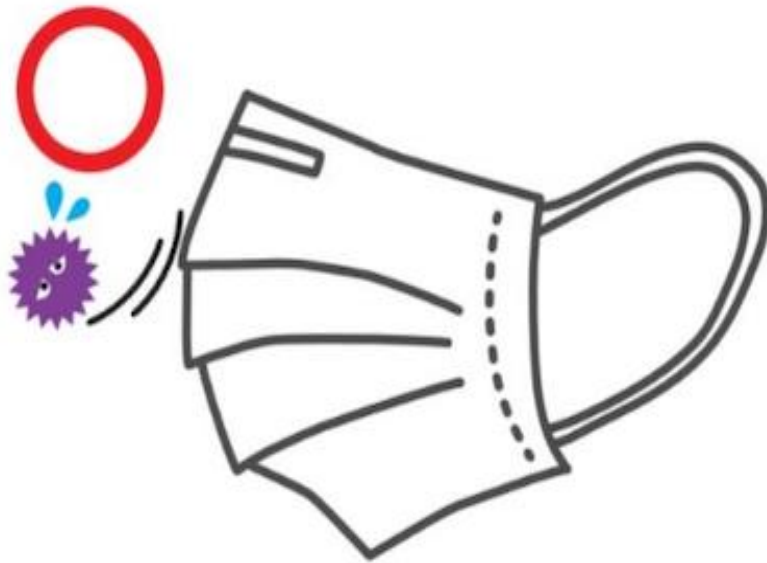
こまめな手指衛生 & 手袋交換を



サージカルマスクの正しい着用方法

☑いろいろなサージカルマスクがありますが

- ①人から見て、ひだが下向きになるようにしてマスクを口元に当てる
- ②鼻のノーズピースを鼻にフィットさせる
- ③鼻から顎までしっかり覆う



防護具着用の目安

サージカルマスク

顔にかかる可能性のある 1 m
以内に近づくとき

たとえば？ 口腔ケア
咳のある患者と
の対応

ゴーグル/アイシールド

顔にかかる可能性のあるとき

たとえば？ 物品洗浄

エプロン/ガウン

ユニフォームが汚れる可能性
があるとき

たとえば？ おむつ交換
物品洗浄

手袋

湿性生体物質に触るとき

たとえば？ 尿回収時
おむつ交換



防護具の着用手順

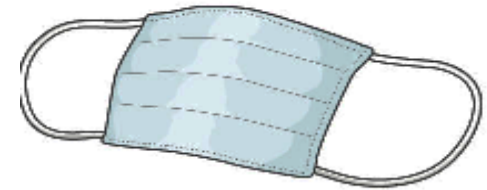
手指衛生



ガウン
エプロン



マスク



ゴーグル



手袋



手袋が
最後

防護具を外す手順

手袋

手指衛生

ゴーグル

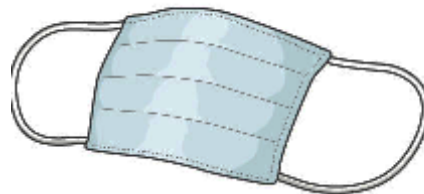


エプロン
ガウン

マスク

手指衛生

手袋を
まず外す



感染防止対策の考え方

標準予防策 (すべての患者に実施)



接触感染 予防策	飛沫感染 予防策	空気感染 予防策
(MRSA) (胃腸炎)	(インフル エンザ) (ムンプス)	(麻疹) (結核) (水痘)

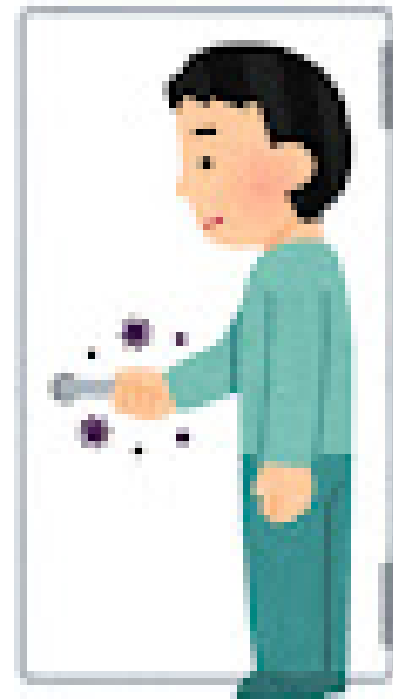
新型コロナウイルスは、主に接触感染・飛沫感染

接触感染とは

感染者（源）に直接接触して感染する

対策

- ◇手袋・プラスチックエプロンか、プラスチックガウンを着用する
- ◇1日1回、患者周辺環境を清拭



飛沫感染とは

咳やくしゃみで飛び散ったしぶき（飛沫）を吸い込むことにより感染する

対策

◇サージカルマスクを着用する



唾が飛び散る
1～2m範囲
を注意！

空気感染とは

空気中を漂う微細な粒子（飛沫核）を
吸い込むことにより感染する

対策 ◇N95マスクを着用する



新型コロナウイルス感染症対策について

☑出勤前の体調確認

発熱時には、出勤前に
まず連絡・報告・相談

以下の場合も注意！！

- ①喉の痛みや違和感がある
- ②倦怠感・味覚障害・嗅覚障害がある
- ③同居している家族がコロナ陽性者と
食事をした・マスクなしで会話した場合
や陽性になった場合

会話をするときは
マスクをつけましょう!



新型コロナウイルス感染症対策について

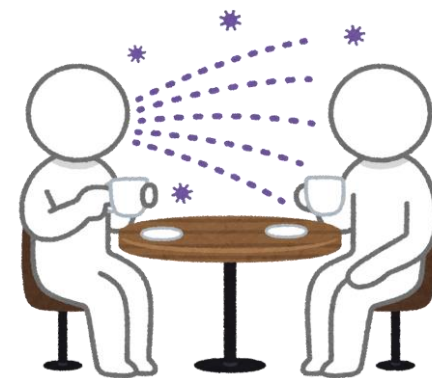
☑手指衛生の実施

☑施設内ではマスクを常時着用

マスクなし会話をしない

- ・ ①食事摂取時②歯磨き③更衣時など、マスクを外した際は会話を控える
- ・ 会話時は、マスクを着用する

なぜか？ ①患者・入所者に、感染させない
②同じ部署で、同時に職員が感染することを防ぐ



目の保護：粘膜があるため、感染経路になり得る

診療やケアを行う際は、医療スタッフだけでなく、患者にもマスク着用していただく

患者が認知症などの理由でマスク着用できない場合、医療スタッフはマスクと**眼の防護具**を着用する

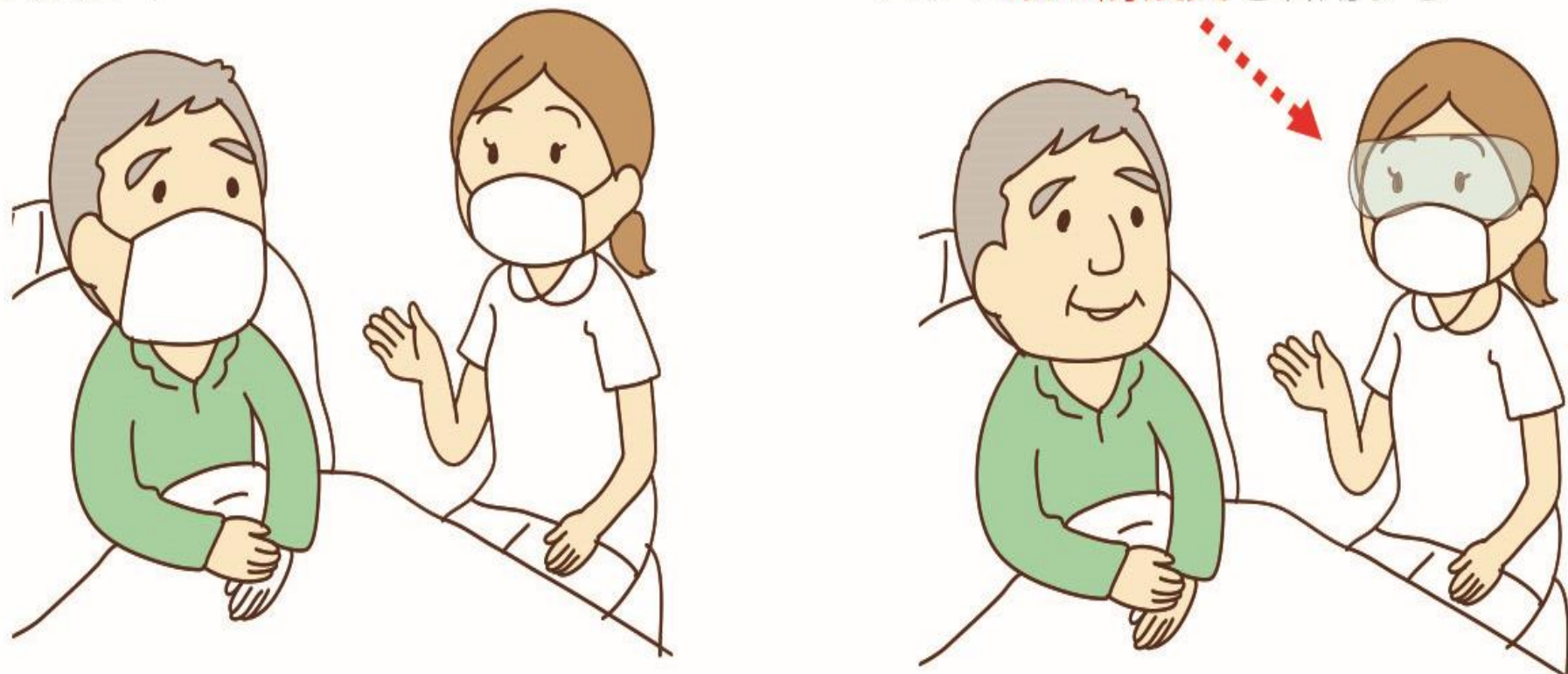


図8 ベッドサイドにおけるユニバーサルマスキング

ゾーニング（区分け）

☑皆が同じ行動が出来るよう場所を決める

- ①危険な場所：感染者がいる部屋
- ②きれいな場所：詰め所
- ③防護具を着る場所
- ④防護具を脱ぐ場所

☑決まったら、表示をする

- ①目で見えて分かるよう表示をする
- ②床にテープを貼る

防護具の着脱について

☑防護具を着る場所と、脱ぐ場所に手順を貼る

☑アルコール製手指消毒剤を設置する

☑着る順番に、防護具を設置する

☑脱ぐ時が一番危険！

曝露を受け感染の
可能性がある







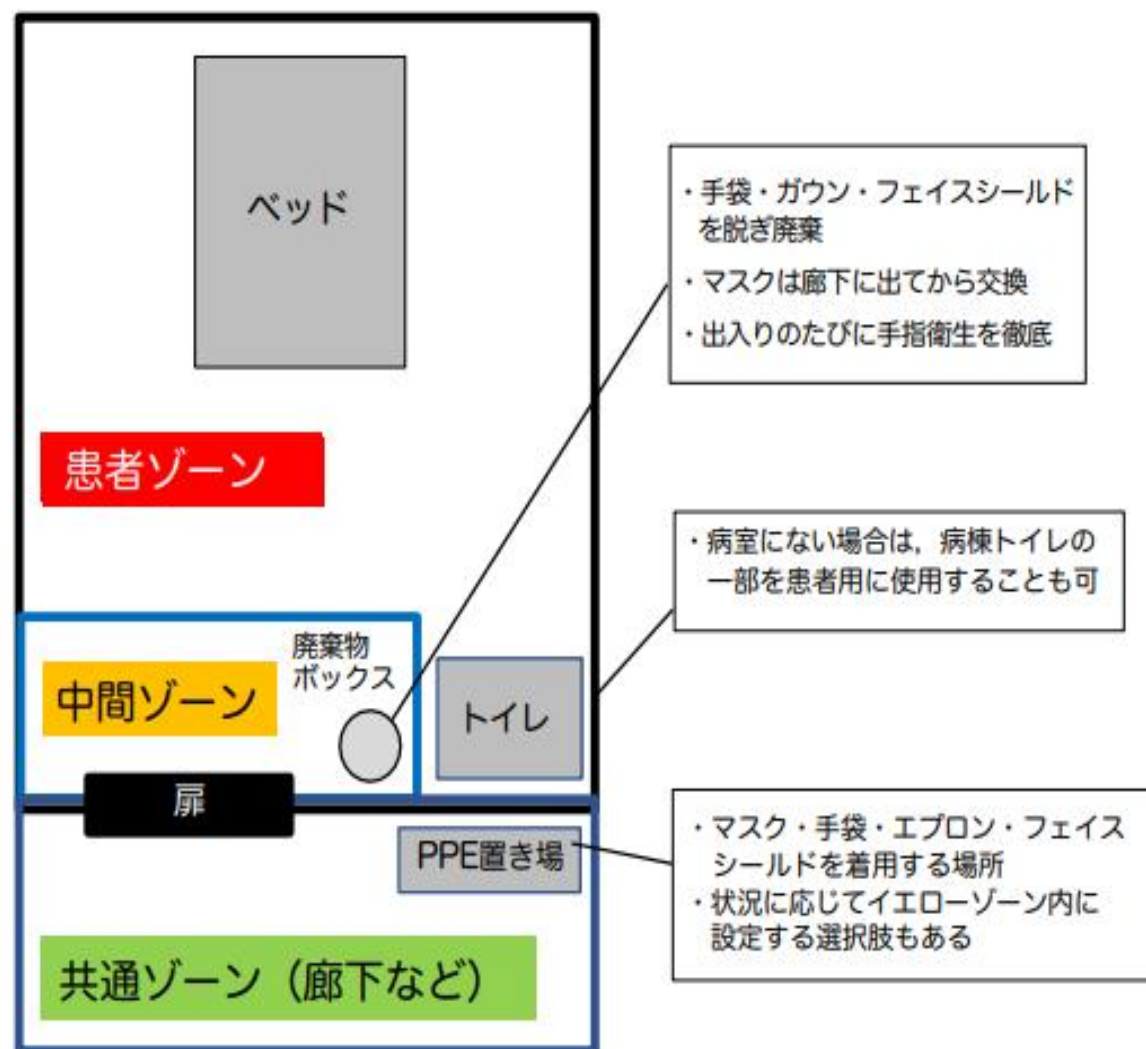
<p>防護具着脱</p>	<p>◀ 病室に入る準備 ▶</p> <ul style="list-style-type: none">①毛髪はゴムやピンでまとめておく②サージカルマスクを鼻から顎まで覆った状態で着用しているか確認③手指消毒実施  
<p>④プラスチックガウンを 着用する ※袖の穴に親指を挿す</p> 	<p>⑤手袋を装着する</p> <p>※不安な場合は -アイガー検査器可 -自分のゴータルもれ出し フェイスシールド可</p> <p>[注意点] 1. 病室入室時、患者がマスクを着用していることを確認する 2. 患者に触れた手袋を、サージカルマスク(及び自分のゴータル)を触らない</p> 
<p>◀ 病室を出る前 ▶ 脱いだ防護具は、感染性廃棄物の容器に廃棄する</p> <p>⑥手袋の上から 手指消毒実施</p> 	<p>⑦手袋を外す</p> <p>⑧プラスチックガウンを外す</p>  

図 6-1 病室単位での新型コロナウイルス感染対策の 1 例

病室ゾーニングの 1 例



病室ゾーニングの見取り図 (案)



共通ゾーン

環境清掃

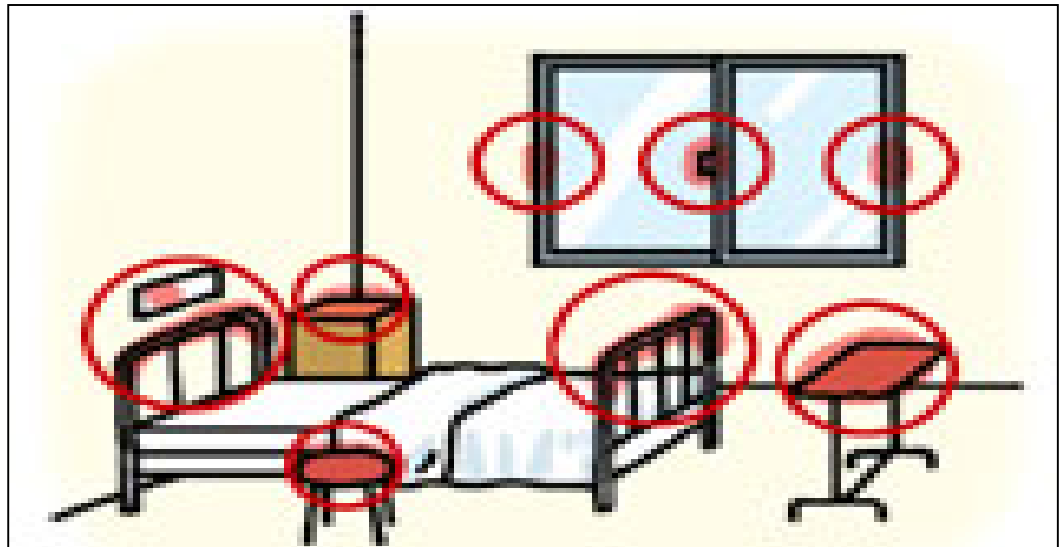
☑ 1日1回は、アルコール含有のクロス等で、
環境を拭く

①職員が良く触れる部分

ドアノブ・机・イス
パソコンキーボード・マウス

パソコンは、アルコールで故障する場合がありますので、クロスを確認して下さい

②患者周辺環境



〈汚物処理室〉



- ・ペットパンウォッシャー
- ・汚物槽回り

〈シンク〉



〈PC 類・モニタ・電話〉



〈機器表面〉



〈ワゴン類〉



〈器具類〉



- ・ストレッチャー
- ・ポータブルトイレ
- ・車椅子など

〈その他〉



- ・エレベーターボタン
- ・リネン庫の扉
- ・手すり

〈薬品保管庫など〉



- ・エアシューター・点滴調製台・薬品庫



図6 当院で使用している高頻度接触表面の一覧（病棟周囲）

インфекションコントロール2022年春季増刊コロナより引用

よくある光景①防護具着けっぱなし

☑防護具着けっぱなし、なぜダメなのか

①周囲の環境が汚染する

②汚染した環境が感染源となり、

別の職員や入所者が感染してしまう

※コロナは接触感染の可能性がある

《対応》

☑患者対応後は、外す

☑外した後は手指消毒実施

処置後の手袋のままで、入力したため、手袋の汚れが、パソコンに付着



- ・1回目の介入。エプロン着用したまま詰所に出入りしている





- ・歩きながら脱いでいる
- ・脱ぐ場所が決まっていない
- ・着用する場所と脱ぐ場所が隣同士【未使用の防護具が汚染してしまう】

よくみかけた光景②

着脱の場所が残念

☑防護具を着用する場所と脱ぐ場所が同じ

※未使用の防護具が汚染する可能性がある

☑一カ所しか設定していない

《対応》

☑着脱の場所を設定する（床にテープを貼る）

・施設の構造を活かす

☑着用する場所と脱ぐ場所を離す

☑着脱の場所を増やす

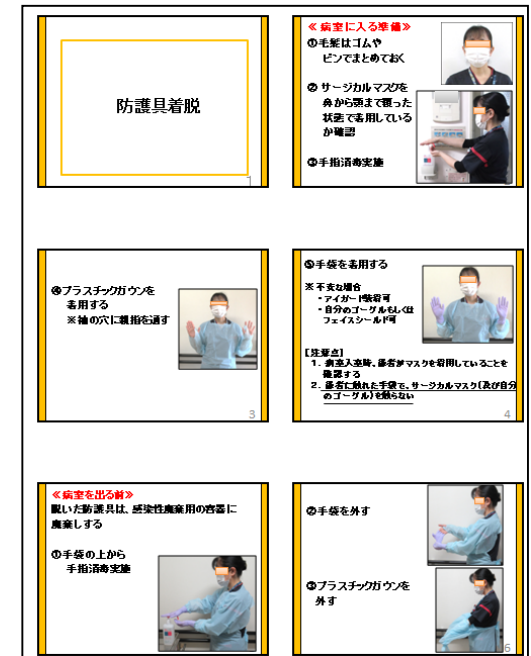
よくみかけた光景③

着脱手順が惜しい

- ☑手順はある。しかし、部分的に順番が違う
- ☑字が小さい・文字だけ
- ☑そもそも手順の表示がない

《対応》

- ☑手順を整える
- ☑手順を分かりやすいものに変更する
 - ・イラスト・写真を入れてもらう
- ☑手順を貼る



- 
- 着脱の手順
 - 表示されているが、見えづらい

よくみかけた光景④ 防護具の着脱手順が 人によって違う



- ☑ 「訓練しています」・・・！？
- ☑ 手袋なしで陽性者の対応実施
- ☑ 脱ぐ時、手指衛生を1回もせずに、
一気に脱ぐ

よくみかけた光景⑤ 防護具の着脱手順が 人によって違う



《対応》

- ☑ スタッフによって手順が違うことを伝える
- ☑ 手順が違うことによる弊害を伝える
 - ・ 汚染するリスクが高い
 - ⇒ **感染のリスクにつながる**
- ☑ 繰り返し、手順を見て「着る」「脱ぐ」
よう指導する

よくみかけた光景⑥

ゾーニング（区分け）が出来ていない

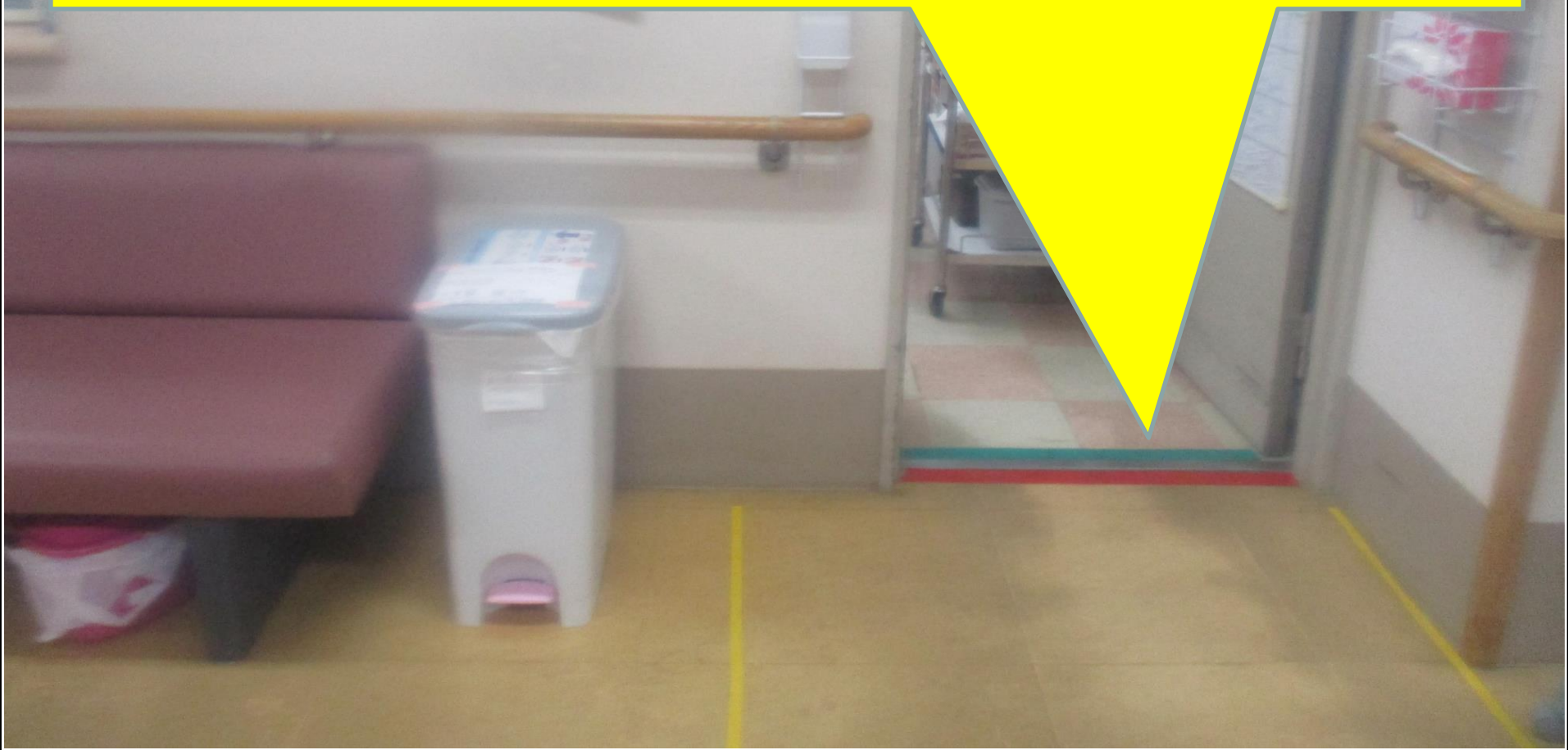
- ☑ゾーニングがされていない。もしくは、曖昧
- ☑物品の受け渡しが、区域に沿っていない
⇒汚染が拡大していく

《対応》

- ☑ゾーニングを明確にする
床にテープを貼ってもらう
- ☑物品の受け渡しの際のルール徹底



・2回目の介入。詰め所に入る前に脱ぐよう
ゾーニング実施【テープを貼って工夫されている】



よくみかけた光景⑦

検温の値を記載した用紙や使用した器具の取り扱いが無造作・無意識

- ☑用紙をそのまま清潔エリアに持ちこんで、記録を記載もしくは入力
⇒清潔エリアが汚染する
- ☑使用後の器具を無意識に取り扱う
⇒周囲が汚染する



よくみかけた光景⑦

検温の値を記載した用紙や使用した器具の取り扱いが無造作・無意識

《対応》

- ☑検温の値を記載した紙をビニールパウチかクリアファイルに入れ、表面をアルコールで拭いてから、清潔エリアに持ち込む
- ☑器材をアルコール含有のクロスで拭く
- ☑触った後に、必ず手指衛生を行う

正しいマスクのつけ方と外し方

鼻のプラスチック部分を鼻の形に合わせて、しっかり顔にフィットさせる



プリーツをしっかり広げ、顎を覆う



ひもを持ってはずす



手指衛生実施



手袋をはずす

①



①手を丸め、手袋のふちをつかむ

②



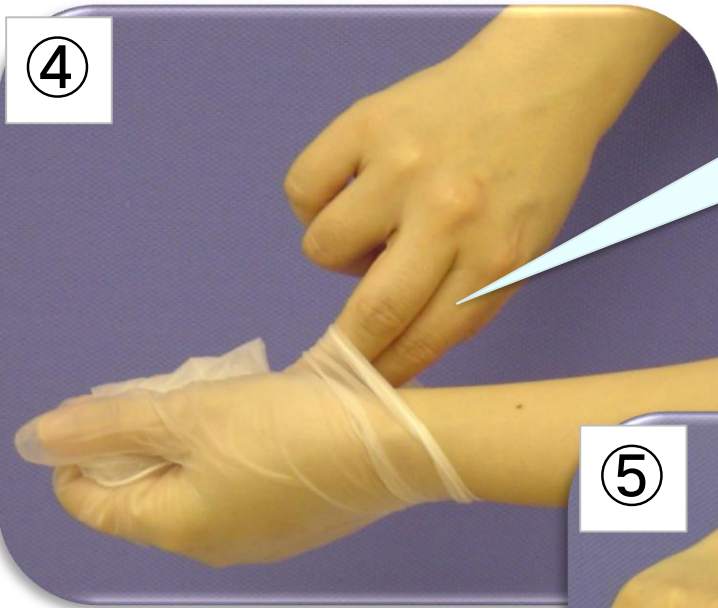
②手を丸めたまま、はずす

③



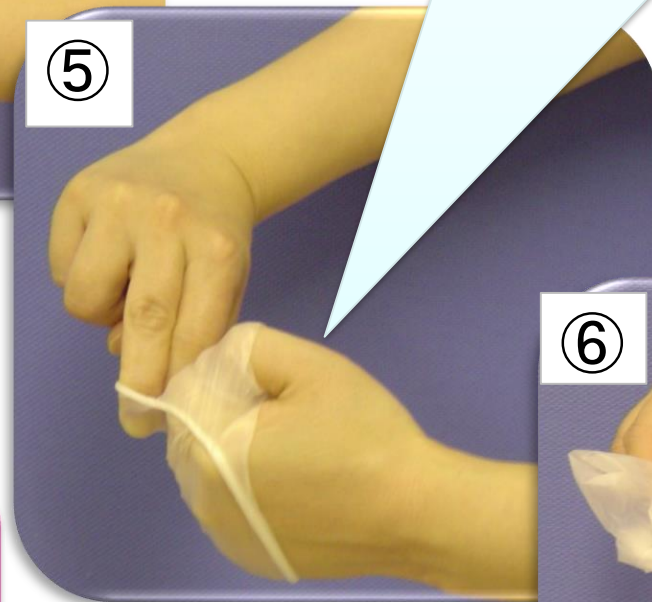
③はずした手袋を反対の手で、包む

④



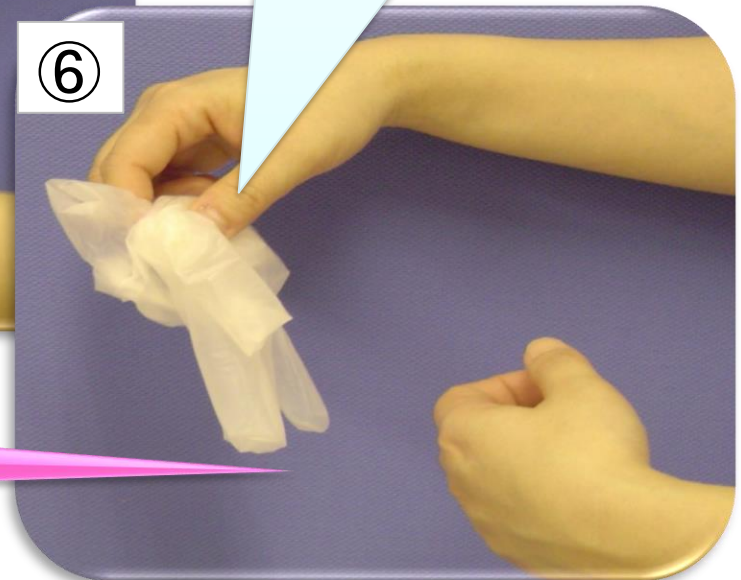
④手袋の内側に手を入
れはずす

⑤



⑤片方の手は、丸めたまま

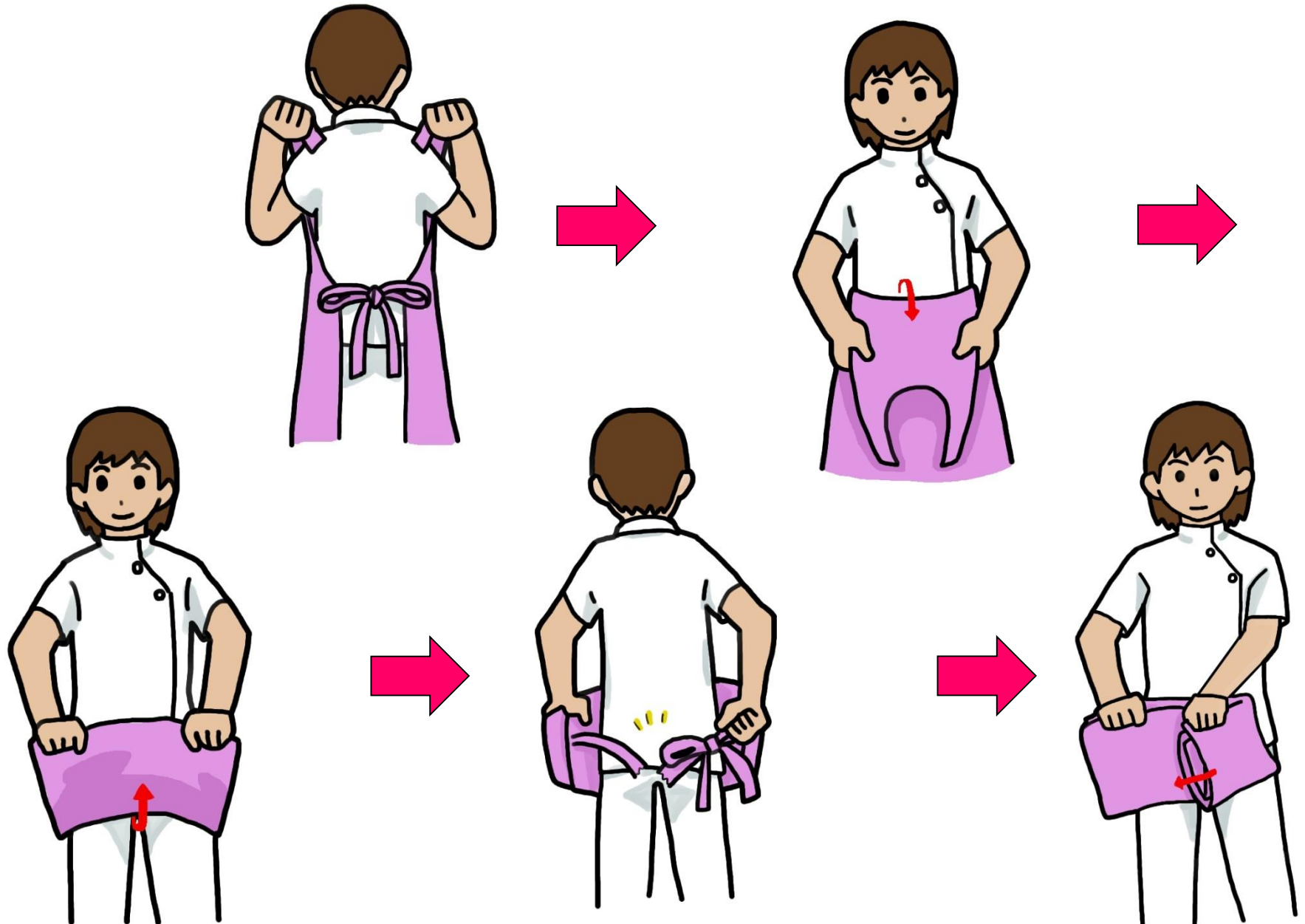
⑥



⑥汚れが散らず、
外せました！

その後は、必ず
手指衛生

エプロンの脱ぎ方



最後に

- ☑菌やウイルスは目に見えません
- ☑だからこそ、皆さん一人一人の行動が重要です
- ☑自分を守り、患者さんも守る感染対策を実践していきましょう

